

令和2年度 第1回南伊豆町総合計画審議会 議事録  
(生涯活躍のまち関係部分抜粋)

日時 令和2年10月29日(木) 14時から17時

場所 南伊豆町役場 湯けむりホール

出席委員 小塚健次 福居通彦 臼井善吾 木下直美 澤路 孝 佐野 讓 橋本元治  
久保田 豊和 高橋 政弘 水野好規 山田朋大 笹本美和 山田清和  
渡辺良平 大年清一 黒田 三千弥 土屋 智

■南伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地域再生計画、地方創生推進交付金活用事業の進捗

・事務局より

地方創生推進交付金活用事業、地域再生計画の進捗状況について説明

<質疑応答>

Q 委員より

南伊豆町版 CCRC と地域包括支援について現況を教えてください。

A 事務局より

共立湊病院跡地の活用というハード面での動きはストップしているため、ソフト事業のみ。地域再生計画の変更も含めて検討中。

地域包括についても、遊休施設の活用など資源の洗い出しまでは進んでいる。

Q 委員より

健康づくりの観点から、計画当初よりも地域の健康度が低下しているように思える。今後どのような展開を進めていくか。

A 事務局より

健康創造に関しては南伊豆町の生涯活躍のまちづくりにおける基本的要素であるため、新たな事業の仕組みの中で再構築していくとともに力を入れて進める。

Q 委員より

拠点整備構想が凍結したとのことであるが、現在はとてもひどい状況になっている。共立湊病院跡地の処理についてどのように考えているか。

A 事務局より

共立湊病院跡地に関しては、現時点で町が購入整備することを断念した。所有者である一部事務組合下田メディカルセンターに施設解体及び土地の有効活用を働きかけていく。

Q 委員より

コロナウイルスの緊急事態宣言等による事業への影響は。

A 事務局より

外部からの流入について自粛などの措置を講じている関係で難しい部分がある。とくにお試し移住事業や現地案内、南伊豆暮らし図鑑などは人の移動を伴うものなので、行政主体の事業としては感染拡大防止の観点を重要視しなくてはならないと考えている。

<委員意見>

- ・事業自体が予定道理に進んでいない状況把握できた。また、政策判断により拠点整備予定地の取得を断念したことも把握できたが、結果的にどのような事業として進めていくのかを明確に示すべき。
- ・移住・定住の推進を図っていくためには、地域の魅力を高めていく必要があり、また、外部に発信していくことが重要
- ・移住促進の効果は表れていると感じている。
- ・地域産業の活性化等により仕事を産み出していく必要がある。
- ・移住促進については、コロナの状況を注視しながら進めていただきたい。
- ・南伊豆暮らし図鑑の利用やサテライトオフィスの需要が多くなっているとの説明があったが、町とのつながりを持つ人が増えることはとても良いと思う。今後も継続して増やしていけるよう頑張してほしい。
- ・移動支援モデル事業についての説明があったが、高齢者の足の問題は大きな課題だと考える。ぜひ推進してほしい。
- ・計画としては良いと思うが、町の取組に一体感が感じられない。他の事業も含めて町の方向性を明確化してほしい。